

第3回  
「借金王ランキング」  
調査

2023 年9月

あなたの会社の **e-審査部**  
**リスクモンスター株式会社**

<https://www.riskmonster.co.jp>

## ■ 調査の概要

### 1. 調査名称

第3回「借金王ランキング」調査

### 2. 調査方法

決算書の分析結果に基づく調査

### 3. 調査対象決算期

2023年7月1日時点で開示されていた2022年4月期決算以降の最新連結決算

### 4. 調査対象企業

金融機関(銀行、証券会社、保険会社等)を除く、決算短信提出企業

### 5. 調査対象企業数

3,192 社

## 1. 調査結果

### [1] 「借金王ランキング」調査／ランキング結果

上場企業の決算短信(金融機関除く)の記載に基づき有利子負債を算出した結果、「借金王ランキング」の1位は「トヨタ自動車」(有利子負債 29 兆 3,803 億円)であった。次いで2位「ソフトバンクグループ」(同 19 兆 4,782 億円)、3位「日本電信電話」(同8兆 2,305 億円)の順となり、以下4位「本田技研工業」(同7兆 6,652 億円)、5位「三菱 HC キャピタル」(同7兆 6,318 億円)、6位「日産自動車」(同6兆 9,029 億円)、7位「ソフトバンク」(同6兆 1,345 億円)となった。

トップ 20 の業種としては、自動車製造業、物品賃貸業、通信業、電気小売業が3社ずつランクインした。特に、自動車製造業と通信業においては、上位7社までに3社ずつランクインしており、事業において金融機関から多額の資金調達が必要になる業種であることがうかがえる。

また、トップ 20 において売上高規模と有利子負債を比較したところ、12 社が年商以上の有利子負債を有する結果となっており、特に物品賃貸業、不動産賃貸業・管理業では、トップ 20 にランクインした5社すべてがそれに該当していることが明らかとなった。物品賃貸業に含まれるリース業や不動産賃貸業は、事業において多額の不動産や設備機器の購入が必要となるため、特に借入が嵩みやすい業種であることがわかる。(図表A)

借金王ランキングトップ 20 における前年度からの有利子負債増減では、増加が 14 社、減少が 6社となっており、トップ 20 において、順位変動は生じているものの、第2回の調査結果からの入れ替わりは生じていない。今回3位にランクインした「日本電信電話」(前回5位→今回3位)では、自己株式の取得や税金支払、円安進展の影響により、有利子負債が大幅に増加したとみられる。(図表B)

なお、トップ 100 については、図表Cにまとめた。(図表C)

### [2] 「借金王ランキング」調査／上位企業 安全性分析

安全性を調査するために借金王ランキングトップ 20 の「現預金回転期間」、「借入依存度」、「自己資本比率」について分析したところ、リスクモンスターの倒産確率分析において高リスクとなる現預金回転期間(現預金÷月商)が「1か月未満」の企業は、20 社中4社のみであった。同様に、借入依存度(総借入÷総資産×100)が「50%超」の企業は5社存在し、うち事業特性として資本投下が大きく借入金が過大となりやすい物品賃貸業と不動産賃貸業・管理業の3社を除外すると、「関西電力」と「九州電力」の2社のみとなっており、借金王ランキングの上位に名を連ねる企業の大半は、資本のバランスを取りながら、計画的な借入を実行していることがうかがえる。

他方、自己資本比率が「30%未満」の企業が 20 社中 12 社にも及んでいるものの、これらの企業は、運用資産の規模増大による収益拡大を図るために財務レバレッジ(総資産÷自己資本)を高めているものと考えられる。(図表D)

### [3] 「借金王ランキング」調査／収益力ランキング

上場企業の収益力を計る指標として、「EBITDA」、「営業キャッシュフロー」を集計してランキングしたところ、EBITDAでは、「トヨタ自動車」、「日本電信電話」、「ソニーグループ」、「ソフトバンク」、「KDDI」が上位となり、営業キャッシュフローでは、「トヨタ自動車」、「日本電信電話」、「本田

技研工業」、「三菱商事」、「日産自動車」が上位となった。

借金王ランキングトップ 20 のうち8社がEBITDAランキングにランクインし、10 社が営業キャッシュフローランキングにランクインしていることから、借入調達した資金を事業に投下しリスクテイクすることで、より多くのリターンを獲得している様子がうかがえる。(図表E、図表F)

※EBITDA＝営業利益(税引前当期純利益＋特別損益＋支払利息)＋減価償却費

#### [4]「借金王ランキング」調査／有利子負債増減企業分析

上場企業における有利子負債の増減企業を集計したところ、有利子負債が増加した先(1,854社、58.0%)は減少企業(1,246社)を上回っており、前回調査時(51.5%)から6.5ポイント増加した。増加企業は、アフターコロナにおける投資の増加や、円安による仕入コスト高騰に対して資金調達が必要となり、有利子負債が増加したものと考えられる。

借金王ランキングトップ 20 の企業としては、増加企業トップ 20 に「トヨタ自動車」、「日本電信電話」、「オリックス」など8社がランクインし、減少企業トップ 20 には「ソフトバンクグループ」、「三菱商事」、「本田技研工業」など6社がランクインしている。

中でも「ソフトバンクグループ」は、2020年度と2021年度の2期で有利子負債が8兆円以上増加したが、2022年度には一転して約2兆円減少しており、増減が目立っている。(図表G、H)

また、「トヨタ自動車」では3期連続増加している一方で、同業の「日産自動車」では3期連続で減少している点からは、同業界の企業であっても、借入方針に違いがみられる点を考慮すると、企業が借入を行う背景には、業界動向や経済環境のほか、各社の戦略に基づくものであることがうかがえる。

## 2. 総評

企業が借金を行う目的は、事業拡大と運転資金確保の2つに分けられる。借金によって事業の成長や安定化を図れる一方で、返済の目途が立たず資金繰りが限界に達すると倒産に至ることから、借金の多寡は倒産リスクに直結するといえる。本レポートは、企業が保有する有利子負債を集計し、安全性・収益性の観点から分析を実施したものである。

第3回借金王ランキングのトップとなった「トヨタ自動車」においては、調査開始以来、有利子負債額が増加し続けながらも、3期連続で「EBITDA」が1位となっていることから、借り入れた資金を積極的に事業に投下(リスクテイク)し、収益(リターン)を得ている模範的な事例を提供しているといえよう。また、トップ10にランクインした「ソフトバンクグループ」、「三菱HCキャピタル」、「ソフトバンク」、「オリックス」などは、自己資本比率が30%未満であり、一見すると財務安全性が低いように見受けられるが、手元資金を潤沢に確保して安全性を保っていることがわかる。

一般的に、借入が多い企業は財務体質が脆弱になりやすいため、倒産リスクが高い企業として評価されやすく、企業経営においても借入に対するイメージは良くないことの方が多いが、本来、借入は企業が成長するために必要な要素の一つであり、企業の安全性を高める要素ともなり得る。現に借金王ランキングの上位企業には、安全性が低いと評価されるような企業はほとんどみられず、借入により財務レバレッジを高めることで、より大きな収益の獲得に成功していたり、十分な量の現預金を保有しておくことで、事業環境の変化に備えていたりするなど、資金調達を自社の成長や安定化のために活用していることがうかがえる。

企業の成長において、借入調達は必要不可欠であることが多いが、そのタイミングや金額などを見誤ることで、深刻な倒産リスクを招きかねないため、資金調達は綿密に練られた事業計画に基づいて行われることが重要となる。アフターコロナにおいて、ビジネスチャンスの拡大により資金調達機会の増加が見込まれる中、事業を成長させるための適切な資金調達の方法・金額・タイミングを見極めていくことはきわめて重要な経営判断となろう。

図表A 第3回「借金王ランキング」調査／ランキングトップ 20

順位	前回順位	企業名	都道府県	業種	有利子負債	売上高
1	1	トヨタ自動車	愛知県	自動車製造業	29兆3,803億円	34兆3,676億円
2	2	ソフトバンクグループ	東京都	通信業	19兆4,782億円	6兆5,704億円
3	5	日本電信電話	東京都	通信業	8兆2,305億円	13兆1,362億円
4	3	本田技研工業	東京都	自動車製造業	7兆6,652億円	16兆9,077億円
5	4	三菱HCキャピタル	東京都	物品賃貸業	7兆6,318億円	1兆8,962億円
6	6	日産自動車	神奈川県	自動車製造業	6兆9,029億円	10兆5,967億円
7	7	ソフトバンク	東京都	通信業	6兆1,345億円	5兆9,120億円
8	11	オリックス	東京都	物品賃貸業	5兆7,185億円	2兆6,664億円
9	9	東京電力ホールディングス	東京都	電気小売業	5兆1,634億円	7兆7,987億円
10	10	三井物産	東京都	各種商品卸売業	5兆406億円	14兆3,064億円
11	13	楽天グループ	東京都	インターネット不随サービス業	4兆9,128億円	1兆9,279億円
12	8	三菱商事	東京都	各種商品卸売業	4兆8,899億円	21兆5,720億円
13	12	関西電力	大阪府	電気小売業	4兆4,953億円	3兆9,519億円
14	15	東京センチュリー	東京都	物品賃貸業	4兆4,889億円	1兆3,250億円
15	16	東日本旅客鉄道	東京都	鉄道業	4兆4,598億円	2兆4,055億円
16	14	武田薬品工業	東京都	化学工業	4兆3,823億円	4兆275億円
17	18	ソニーグループ	東京都	技術サービス	3兆8,706億円	11兆5,398億円
18	19	住友不動産	東京都	不動産賃貸業・管理業	3兆6,461億円	9,399億円
19	17	九州電力	福岡県	電気小売業	3兆5,584億円	2兆2,213億円
20	20	三井不動産	東京都	不動産賃貸業・管理業	3兆3,717億円	2兆2,691億円

図表B 第3回「借金王ランキング」調査／有利子負債前年同期比 トップ企業比較

順位	企業名	今期有利子負債	前期有利子負債	増減
1	トヨタ自動車	29兆3,803億円	26兆4,964億円	2兆8,839億円
2	ソフトバンクグループ	19兆4,782億円	21兆4,574億円	▲1兆9,792億円
3	日本電信電話	8兆2,305億円	7兆3,643億円	8,663億円
4	本田技研工業	7兆6,652億円	8兆1,026億円	▲4,374億円
5	三菱HCキャピタル	7兆6,318億円	7兆4,616億円	1,702億円
6	日産自動車	6兆9,029億円	6兆9,978億円	▲948億円
7	ソフトバンク	6兆1,345億円	5兆9,995億円	1,350億円
8	オリックス	5兆7,185億円	7兆1,428億円	▲1兆4,243億円
9	東京電力ホールディングス	5兆1,634億円	4兆9,426億円	2,207億円
10	三井物産	5兆406億円	4兆8,775億円	1,631億円
11	楽天グループ	4兆9,128億円	4兆8,183億円	945億円
12	三菱商事	4兆8,899億円	5兆6,432億円	▲7,533億円
13	関西電力	4兆4,953億円	4兆3,520億円	1,433億円
14	東京センチュリー	4兆4,889億円	4兆2,159億円	2,729億円
15	東日本旅客鉄道	4兆4,598億円	4兆549億円	4,050億円
16	武田薬品工業	4兆3,823億円	4兆3,454億円	369億円
17	ソニーグループ	3兆8,706億円	3兆3,516億円	5,190億円
18	住友不動産	3兆6,461億円	3兆2,633億円	3,828億円
19	九州電力	3兆5,584億円	3兆6,381億円	▲797億円
20	三井不動産	3兆3,717億円	3兆1,175億円	2,542億円

図表C 第3回「借金王ランキング」調査／ランキングトップ 100

順位	企業名	有利子負債	順位	企業名	有利子負債
1	トヨタ自動車	29兆3,803億円	51	ANAホールディングス	1兆3,794億円
2	ソフトバンクグループ	19兆4,782億円	52	北海道電力	1兆3,086億円
3	日本電信電話	8兆2,305億円	53	東急	1兆2,875億円
4	本田技研工業	7兆6,652億円	54	近鉄グループホールディングス	1兆2,793億円
5	三菱HCキャピタル	7兆6,318億円	55	INPEX	1兆2,702億円
6	日産自動車	6兆9,029億円	56	KDDI	1兆2,522億円
7	ソフトバンク	6兆1,345億円	57	東京瓦斯	1兆2,429億円
8	オリックス	5兆7,185億円	58	パナソニック	1兆2,093億円
9	東京電力ホールディングス	5兆1,634億円	59	北陸電力	1兆1,978億円
10	三井物産	5兆406億円	60	三菱重工業	1兆1,924億円
11	楽天グループ	4兆9,128億円	61	野村不動産ホールディングス	1兆1,215億円
12	三菱商事	4兆8,899億円	61	商船三井	1兆1,037億円
13	関西電力	4兆4,953億円	63	阪急阪神ホールディングス	1兆926億円
14	東京センチュリー	4兆4,889億円	64	小松製作所	1兆538億円
15	東日本旅客鉄道	4兆4,598億円	65	レゾナック・ホールディングス	1兆475億円
16	武田薬品工業	4兆3,823億円	66	東京建物	9,876億円
17	ソニーグループ	3兆8,706億円	67	日本たばこ産業	9,583億円
18	住友不動産	3兆6,461億円	68	旭化成	9,395億円
19	九州電力	3兆5,584億円	69	日本航空	9,255億円
20	三井不動産	3兆3,717億円	70	東レ	9,111億円
21	住友商事	3兆1,521億円	71	日本製紙	9,022億円
22	ENEOSホールディングス	3兆1,094億円	72	日本酸素ホールディングス	9,000億円
23	イオン	3兆1,066億円	73	住友電気工業	8,987億円
24	セブン&アイホールディングス	3兆858億円	74	デンソー	8,893億円
25	東北電力	3兆751億円	75	双日	8,837億円
26	伊藤忠商事	3兆066億円	76	リコーリース	8,660億円
27	三菱地所	2兆8,702億円	77	神戸製鋼所	8,618億円
28	中国電力	2兆7,782億円	78	四国電力	8,607億円
29	日本製鉄	2兆6,994億円	79	NECキャピタルソリューション	8,554億円
30	中部電力	2兆6,914億円	80	アイシン精機	8,487億円
31	芙蓉総合リース	2兆4,754億円	81	大阪瓦斯	8,115億円
32	みずほリース	2兆4,117億円	81	王子ホールディングス	7,996億円
33	三菱ケミカルホールディングス	2兆2,438億円	83	東武鉄道	7,922億円
34	日立製作所	2兆2,133億円	84	西武ホールディングス	7,747億円
35	丸紅	2兆934億円	85	スズキ	7,638億円
36	豊田通商	2兆217億円	85	ダイキン工業	7,606億円
37	Zホールディングス	1兆9,138億円	87	ルネサスエレクトロニクス	7,557億円
38	ジェイエフイーホールディングス	1兆8,630億円	87	三井化学	7,382億円
39	大和ハウス工業	1兆8,466億円	89	日本ペイントホールディングス	7,221億円
40	エヌ・ティ・ティ・データ	1兆7,319億円	90	光通信	7,218億円
41	豊田自動織機	1兆6,991億円	91	シャープ	7,066億円
42	電源開発	1兆6,782億円	92	TDK	6,972億円
43	クボタ	1兆6,111億円	93	コスモエネルギーホールディングス	6,862億円
44	西日本旅客鉄道	1兆5,745億円	94	イオンモール	6,688億円
45	アサヒグループホールディングス	1兆4,973億円	95	小田急電鉄	6,475億円
46	東急不動産ホールディングス	1兆4,829億円	96	日本電産	6,456億円
47	住友化学	1兆4,614億円	97	ヤマハ発動機	6,027億円
48	出光興産	1兆4,579億円	98	マツダ	5,964億円
49	東海旅客鉄道	1兆4,572億円	99	日本郵船	5,933億円
50	ヒューリック	1兆4,410億円	100	バン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	5,871億円



図表D 第3回「借金王ランキング」調査／ランキング上位企業 安全性分析

順位	企業名	現預金 回転期間	借入依存度	自己資本比率
1	トヨタ自動車	2.6か月	39.5%	39.4%
2	ソフトバンクグループ	12.6か月	44.3%	24.2%
3	日本電信電話	0.7か月	32.5%	36.9%
4	本田技研工業	2.7か月	31.1%	46.8%
5	三菱HCキャピタル	3.7か月	71.2%	14.5%
6	日産自動車	2.0か月	39.2%	31.9%
7	ソフトバンク	4.2か月	41.8%	25.1%
8	オリックス	5.5か月	37.5%	22.5%
9	東京電力ホールディングス	1.1か月	38.1%	23.0%
10	三井物産	1.2か月	32.8%	42.7%
11	楽天グループ	29.2か月	24.0%	4.3%
12	三菱商事	0.9か月	22.1%	41.2%
13	関西電力	0.8か月	51.2%	21.0%
14	東京センチュリー	2.0か月	73.8%	14.6%
15	東日本旅客鉄道	1.1か月	47.7%	26.7%
16	武田薬品工業	1.6か月	31.4%	45.5%
17	ソニーグループ	1.5か月	12.1%	22.7%
18	住友不動産	2.4か月	57.3%	28.3%
19	九州電力	1.6か月	63.5%	11.0%
20	三井不動産	0.7か月	38.1%	34.3%

※背景色ありは、「現預金回転期間」が大きい上位5社、「借入依存度」が小さい上位5社、「自己資本比率」が大きい上位5社

図表E 第3回「借金王ランキング」調査／EBITDAランキング

順位	企業名	業種	EBITDA
1	トヨタ自動車	自動車製造業	4兆7,649億円
2	日本電信電話	通信業	3兆4,116億円
3	ソニーグループ	電気機械器具製造業	2兆2,128億円
4	ソフトバンク	通信業	1兆8,244億円
5	KDDI	通信業	1兆7,729億円
6	本田技研工業	自動車製造業	1兆5,610億円
7	INPEX	鉱業、採石業、砂利採取業	1兆5,390億円
8	日立製作所	電気機械器具製造業	1兆2,745億円
9	セブン&アイ・ホールディングス	専門サービス業	1兆2,462億円
10	日本製鉄	鉄鋼業	1兆2,238億円
11	信越化学工業	化学工業	1兆2,118億円
12	武田薬品工業	化学工業	1兆1,549億円
13	伊藤忠商事	各種商品卸売業	1兆1,119億円
14	ソフトバンクグループ	通信業	8,935億円
15	日本たばこ産業	飲料・たばこ・飼料製造業	8,532億円
16	イオン	専門サービス業	8,310億円
17	デンソー	輸送用機械器具製造業	7,907億円
18	ブリヂストン	ゴム製品製造業	7,234億円
19	オリックス	物品賃貸業	6,674億円
20	東京エレクトロン	生産用機械器具製造業	6,607億円

※背景色ありは、借金王ランキング上位20の企業

図表F 第3回「借金王ランキング」調査／営業キャッシュフローランキング

順位	企業名	業種	営業キャッシュフロー
1	トヨタ自動車	自動車製造業	2兆9,551億円
2	日本電信電話	通信業	2兆2,610億円
3	本田技研工業	自動車製造業	2兆1,290億円
4	三菱商事	各種商品卸売業	1兆9,301億円
5	日産自動車	自動車製造業	1兆2,211億円
6	ソフトバンク	通信業	1兆1,558億円
7	KDDI	通信業	1兆789億円
8	三井物産	各種商品卸売業	1兆475億円
9	武田薬品工業	化学工業	9,772億円
10	伊藤忠商事	各種商品卸売業	9,381億円
11	セブン&アイ・ホールディングス	専門サービス業	9,285億円
12	オリックス	物品賃貸業	9,131億円
13	日立製作所	電気機械器具製造業	8,270億円
14	日本郵船	水運業	8,249億円
15	信越化学工業	化学工業	7,880億円
16	INPEX	鉱業, 採石業, 砂利採取業	7,513億円
17	ソフトバンクグループ	通信業	7,413億円
18	日本製鉄	鉄鋼業	6,613億円
19	丸紅	各種商品卸売業	6,063億円
20	デンソー	輸送用機械器具製造業	6,027億円

※背景色ありは、借金王ランキング上位20の企業

図表 G 第3回「借金王ランキング」調査／有利子負債増加企業ランキングトップ20

順位	企業名	業種	増加額	第2回時 増減額	第1回時 増減額
1	トヨタ自動車	自動車製造業	2兆8,839億円	8,367億円	5兆1,067億円
2	NTTデータグループ	情報サービス業	1兆2,354億円	▲824億円	▲191億円
3	日立製作所	電気機械器具製造業	9,792億円	▲1兆1,632億円	9,123億円
4	日本電信電話	通信業	8,663億円	▲2,601億円	3兆4,041億円
5	オリックス	物品賃貸業	8,518億円	1,426億円	2兆4,257億円
6	東北電力	電気業	7,002億円	2,324億円	872億円
7	ソニーグループ	電気機械器具製造業	5,190億円	1兆2,587億円	6,179億円
8	クボタ	生産用機械器具製造業	5,166億円	2,201億円	▲285億円
9	中国電力	電気業	4,579億円	2,927億円	521億円
10	大和ハウス工業	不動産取引業	4,241億円	1,505億円	2,311億円
11	東日本旅客鉄道	鉄道業	4,050億円	4,424億円	7,765億円
12	住友不動産	不動産賃貸業・管理業	3,828億円	150億円	1,279億円
13	ENEOSホールディングス	専門サービス業	3,739億円	6,986億円	▲2,639億円
14	豊田自動織機	輸送用機械器具製造業	3,086億円	452億円	56億円
15	PHCホールディングス	機械器具卸売業	2,926億円	0億円	-
16	東京センチュリー	物品賃貸業	2,729億円	▲34億円	167億円
17	北陸電力	電気業	2,546億円	556億円	164億円
18	三井不動産	不動産賃貸業・管理業	2,542億円	366億円	2,034億円
19	Zホールディングス	インターネット附随サービス業	2,473億円	2,769億円	1兆3,896億円
20	日立物流	道路貨物運送業	2,470億円	▲10億円	▲14億円
<b>今回有利子負債増加企業合計</b>			<b>1,854社</b>	<b>1,649社</b>	<b>1,965社</b>

※背景色ありは、借金王ランキング上位20の企業

※「今回有利子負債増加企業合計」は、前年度から増減がなかった先も含みます。

図表 H 第3回「借金王ランキング」調査／有利子負債減少企業ランキングトップ 20

順位	企業名	業種	減少額	第2回時 増減額	第1回時 増減額
1	ソフトバンクグループ	通信業	▲1兆9,792億円	2兆9,445億円	5兆3,811億円
2	三菱商事	各種商品卸売業	▲7,533億円	▲11億円	▲1,158億円
3	本田技研工業	自動車製造業	▲4,374億円	3,816億円	2,513億円
4	パナソニック	電気機械器具製造業	▲4,213億円	4,411億円	▲149億円
5	ANAホールディングス	航空運輸業	▲3,607億円	2,373億円	8,164億円
6	丸紅	各種商品卸売業	▲3,453億円	48億円	521億円
7	阪和興業	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	▲3,419億円	4,200億円	▲297億円
8	双日	各種商品卸売業	▲1,690億円	1,444億円	151億円
9	アステラス製薬	化学工業	▲1,663億円	0億円	3,472億円
10	西武ホールディングス	専門サービス業	▲1,363億円	▲25億円	29億円
11	HOYA	その他の製造業	▲1,209億円	1,322億円	▲87億円
12	日本郵船	水運業	▲1,117億円	▲1,490億円	▲960億円
13	デンソー	輸送用機械器具製造業	▲1,022億円	1,372億円	3,889億円
14	アサヒグループホールディングス	専門サービス業	▲989億円	▲2,274億円	8,804億円
15	ブリヂストン	ゴム製品製造業	▲952億円	▲4,525億円	4,814億円
16	日産自動車	自動車製造業	▲948億円	▲4,825億円	▲3,197億円
17	九州電力	電気小売業	▲797億円	5,300億円	1,023億円
18	三菱マテリアル	非鉄金属製造業	▲757億円	▲188億円	788億円
19	AGC	窯業・土石製品製造業	▲752億円	▲976億円	1,781億円
20	富士通	情報サービス業	▲741億円	▲310億円	▲892億円
今回有利子負債減少企業合計			1,246社	1,553社	1,186社

※背景色ありは、借金王ランキング上位20の企業